

2013年1月17日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報3号
デング熱の流行について

今年に入って2週間で、リオ州内で既に約600人がデング熱を発症しています。

2012年中のリオ州のデング熱発症者は約18万人、死者41人でした。発症者は2011年の約16万人と比べて約9%増加しましたが、死者は同183人から約70%減少しました。

死者のほとんどは、発症後に直ちに正しい対処をしなかったと見られています。デング熱の症状は数時間で大きく変化することがあるため、症状が落ち着いたように見えても油断せず通院を続ける必要があります。

デング熱の典型的な症状は、発熱、目の奥の痛み、体の痛み(骨の痛み)ですので、そのような症状が現れたらすぐに医療機関にかかってください。

また、デング熱を媒介する蚊の多くは住居内またはごく近くで発生していると言われます。ベランダや鉢植えなどに水たまりを作らないよう注意し、外出時には虫除けを使用するようにしてください。